



2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2020年10月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	1,127	42.9	15		0	99.5	19	
2020年5月期第1四半期	1,975	6.9	171		169		91	

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 38百万円 (%) 2020年5月期第1四半期 93百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	3.93	
2020年5月期第1四半期	18.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	12,846	5,396	39.0
2020年5月期	11,150	4,962	44.3

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 5,016百万円 2020年5月期 4,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		5.00	5.00
2021年5月期					
2021年5月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,621	6.2	238	15.6	255	14.6	150		30.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Great Pretenders製作委員会、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年5月期1Q	5,055,400 株	2020年5月期	5,055,400 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年5月期1Q	112,633 株	2020年5月期	148,533 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年5月期1Q	4,924,809 株	2020年5月期1Q	4,906,890 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動は停滞し、緊急事態宣言の解除後、一部で景気の持ち直しが期待されておりますが、景気回復に向かう動きは鈍く、また、米国・中国の貿易摩擦問題も長期化していることから、先行きは不透明な状況であります。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画・製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,127,728千円（前年同期比42.9%減）、経常利益は828千円（前年同期比99.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19,377千円（前年同期は91,095千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「ガル学。～聖ガールズスクエア学院～」 「はなかつぱ」等のアニメーションを制作いたしました。

当第1四半期累計期間は映像制作事業の売上の端境期にあたり、大きな映像作品の売上はありませんでした。第2四半期以降に、劇場用大型作品等の売上を計上する見込みとなっております。

以上により、当事業の売上高は138,862千円（前年同期比89.5%減）、営業損失は173,900千円（前年同期は125,757千円の営業利益）となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リィンカーネーションの花弁 12巻」「剣聖の称号を持つ料理人 1巻」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍26点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リィンカーネーションの花弁」「転生貴族の異世界冒険録」は、特に販売好調でありました。書店向けの出版関連売上は前年対比ほぼ横這いで推移しましたが、新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要もあり、「異世界モノ」ジャンルの作品を中心とした電子書籍関連の売上が伸びています。

以上により、当事業の売上高は378,062千円（前年同期比56.9%増）、営業利益は38,977千円（前年同期は20,821千円の営業損失）となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「ヴィンランド・サガ」「攻殻機動隊」「進撃の巨人」「B: The Beginning」「ハイキュー!!」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は548,367千円（前年同期比49.9%増）、減価償却費が増えましたが、営業利益は145,536千円（前年同期比18.0%増）となりました。

④ その他

その他の事業におきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、スマートフォン向けアプリ等により当事業の売上高は62,436千円（前年同期比26.4%増）、営業損失は2,765千円（前年同期は38,001千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産におきましては、前連結会計年度末に比べ1,696,434千円増加し12,846,641千円となりました。主な要因は、仕掛品が839,291千円、コンテンツ資産が255,744千円、現金及び預金が205,686千円、受取手形及び売掛金が202,931千円増加し、一方、映像マスターが93,766千円減少したことによるものであります。

② 負債

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ1,262,523千円増加し7,450,099千円となりました。主な要因は、前受金が1,065,018千円、預り金が205,744千円、買掛金が140,928千円増加し、一方、未払法人税等が147,410千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ433,911千円増加し5,396,542千円となりました。主な要因は、非支配株主持分が362,506千円増加し、一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が44,653千円、株式給付信託(J-ESOP)制度による株式の給付により自己株式が62,466千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の業績予想につきましては、2020年7月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,639,698	3,845,385
受取手形及び売掛金	1,196,800	1,399,732
商品及び製品	125,564	113,025
仕掛品	3,254,123	4,093,414
貯蔵品	7,748	7,959
前渡金	20,922	53,625
その他	204,251	503,825
貸倒引当金	△514	△298
流動資産合計	8,448,595	10,016,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,773	430,146
土地	658,162	658,162
映像マスター(純額)	296,226	202,459
その他(純額)	92,083	85,232
有形固定資産合計	1,482,245	1,375,999
無形固定資産		
コンテンツ資産	701,850	957,595
その他	38,353	35,726
無形固定資産合計	740,204	993,322
投資その他の資産		
投資有価証券	172,701	171,011
その他	331,028	314,206
貸倒引当金	△24,568	△24,568
投資その他の資産合計	479,161	460,649
固定資産合計	2,701,611	2,829,972
資産合計	11,150,206	12,846,641

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	562,177	703,105
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	626,948	686,883
未払法人税等	151,648	4,238
前受金	3,346,283	4,411,301
預り金	503,057	708,801
賞与引当金	—	45,993
役員賞与引当金	37,418	10,146
株式給付引当金	62,292	6,264
返品調整引当金	69,463	50,553
受注損失引当金	163,993	167,818
その他	234,737	228,649
流動負債合計	5,958,017	7,223,756
固定負債		
退職給付に係る負債	70,920	72,373
役員退職慰労引当金	56,672	58,820
その他	101,965	95,149
固定負債合計	229,557	226,342
負債合計	6,187,575	7,450,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,132,016	2,186,440
利益剰余金	2,292,414	2,247,760
自己株式	△258,462	△195,996
株主資本合計	4,947,469	5,019,705
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,799	△3,629
その他の包括利益累計額合計	△2,799	△3,629
非支配株主持分	17,960	380,466
純資産合計	4,962,631	5,396,542
負債純資産合計	11,150,206	12,846,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,975,276	1,127,728
売上原価	1,558,106	831,178
売上総利益	417,169	296,550
返品調整引当金戻入額	4,050	18,910
差引売上総利益	421,219	315,460
販売費及び一般管理費	250,039	330,672
営業利益又は営業損失(△)	171,179	△15,212
営業外収益		
受取利息	151	660
受取賃貸料	5,792	4,406
補助金収入	—	19,868
その他	328	393
営業外収益合計	6,271	25,328
営業外費用		
支払利息	251	178
為替差損	169	—
賃貸収入原価	4,701	5,206
知的財産関連費用	2,003	2,133
その他	1,305	1,769
営業外費用合計	8,431	9,287
経常利益	169,020	828
特別損失		
減損損失	35,241	7,948
特別損失合計	35,241	7,948
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,779	△7,120
法人税、住民税及び事業税	36,148	11,089
法人税等調整額	3,472	19,630
法人税等合計	39,620	30,719
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,158	△37,839
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,063	△18,462
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	91,095	△19,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,158	△37,839
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△743	△830
その他の包括利益合計	△743	△830
四半期包括利益	93,415	△38,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,352	△20,208
非支配株主に係る四半期包括利益	3,063	△18,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,319,143	240,926	365,791	1,925,861	49,414	1,975,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,319,143	240,926	365,791	1,925,861	49,414	1,975,276
セグメント利益又は損失(△)	125,757	△20,821	123,384	228,321	△38,001	190,320

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,321
「その他」の区分の損失(△)	△38,001
全社費用(注)	△19,140
四半期連結損益計算書の営業利益	171,179

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失35,241千円を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	138,862	378,062	548,367	1,065,292	62,436	1,127,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	138,862	378,062	548,367	1,065,292	62,436	1,127,728
セグメント利益又は損失(△)	△173,900	38,977	145,536	10,613	△2,765	7,848

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,613
「その他」の区分の損失(△)	△2,765
全社費用(注)	△23,060
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△15,212

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失7,948千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。